【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年1月17日(2022.1.17)

【国際公開番号】WO2020/122201
【出願番号】特願2020-559326(P2020-559326)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ 13/53(2006.01)
Ｂ０１Ｊ 20/26(2006.01)
Ｃ０８Ｌ 33/02(2006.01)
Ｃ０８Ｋ 7/02(2006.01)
Ｃ０８Ｌ101/14(2006.01)
Ｃ０８Ｆ 20/06(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ 13/53 ３００
Ｂ０１Ｊ 20/26 Ｄ
Ｃ０８Ｌ 33/02
Ｃ０８Ｋ 7/02
Ｃ０８Ｌ101/14
Ｃ０８Ｆ 20/06

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月6日(2022.1.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
吸水性樹脂粒子及び繊維状物を含有し、
前記吸水性樹脂粒子の中位粒子径が２５０～６００μｍであり、
前記吸水性樹脂粒子が粒子径１８０μｍ以下の小径粒子を含み、
前記小径粒子と前記繊維状物との混合物に対して１０分間振とう処理を施したときの前記混合物の脱落率が２０質量％以下である、吸収体（但し、吸水性ポリマー材の表面に熱溶融性の樹脂成分を含む接合基部を有する液吸収性複合粒材が、前記接合基部を介して基材不織布に固着されており、前記液吸収性複合粒材が、前記基材不織布の繊維層の厚み方向において、該基材不織布の一方の面側と他方の面側とで粒径が異なっている吸収体を除く）。
【請求項２】
吸水性樹脂粒子及び繊維状物を含む混合物であり、
前記繊維状物が粉砕パルプを含み、
前記吸水性樹脂粒子の中位粒子径が２５０～６００μｍであり、
前記吸水性樹脂粒子が粒子径１８０μｍ以下の小径粒子を含み、
前記小径粒子と前記繊維状物との混合物に対して１０分間振とう処理を施したときの前記混合物の脱落率が２０質量％以下である、吸収体。
【請求項３】
前記吸水性樹脂粒子における前記小径粒子の含有量が１０質量％以下である、請求項１又は２に記載の吸収体。
【請求項４】

前記吸水性樹脂粒子が、（メタ）アクリル酸及びその塩からなる群より選ばれる少なくとも１種に由来する構造単位を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の吸収体。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか一項に記載の吸収体を備える、吸収性物品。
【請求項６】
おむつである、請求項５に記載の吸収性物品。